



要望書の書き方（考え方）について



独立行政法人 環境再生保全機構

地球環境基金部

交付要望書 様式その2-2



その2-2 [助成を希望する活動の内容]

⑤ 上位目標及び活動計画

(1) 本助成活動が目指す最終的に実現したい望ましい環境の状態 (上位目標)

上位目標の達成にどれだけ近づいたか



(2) 上位目標の実現に寄与する望ましい成果 (アウトカム) 何で成果を測るか

アウトカムの達成度 (実績値)



(3) アウトカムを達成するための直接的な活動目標 (アウトプット) 及びアウトカムを達成するための具体的な手段 (活動計画)

活動1 ()

○活動計画	○アウトプット (目標)
(1年目)	
1年目 達成できたこと (アウトプットの実績値を含む)	
(2年目)	
2年目 達成できたこと (アウトプットの実績値を含む)	
(3年目)	
3年目 達成できたこと (アウトプットの実績値を含む)	

上位目標

活動対象の地域に起こる変化など、この活動で最終的に実現したい状態

アウトカム

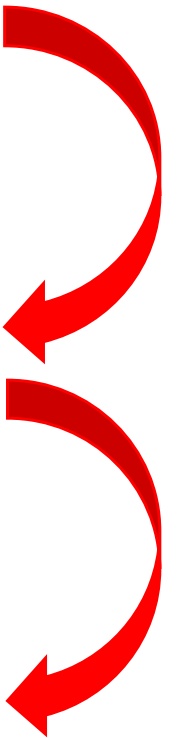
助成活動終了時に実現が期待される状況

アウトプット

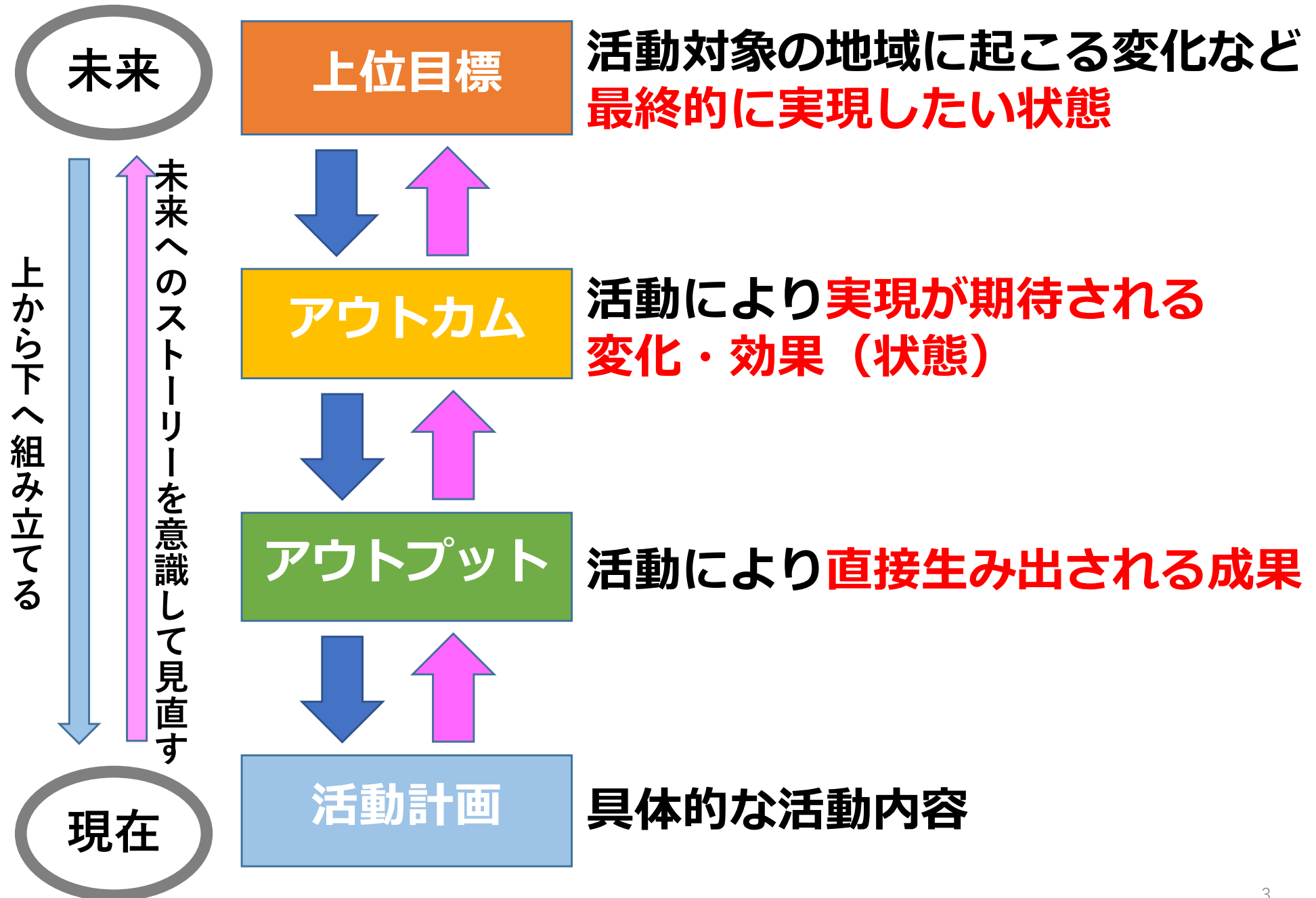
活動を行うことにより直接生み出される結果

活動計画

具体的に実行・実施する活動



ロジックモデルの構成





<具体例>

〇〇地域における里山保全活動



上位目標

設定のポイント



- 活動対象の地域に起こる変化など
最終的に実現したい状態を考える
- 活動の背景にある問題意識 「誰の、どのような問題を解決したいのか」を具体的に突き詰める

例えば、

地元の山林における特定外来生物の駆除活動をするのであれば、直接的な目的は「特定外来生物の繁殖を防ぐ」こと。



それは何のためかを
突き詰めると・・・

「○○地域の山林の生物多様性が
地域住民により維持され続ける」

こと（状態）といえます。



- ・ 上位目標を実現するために必要な変化・効果を
網羅的に洗い出す

【上位目標】 ○○地域の山林の生物多様性が
地域住民により維持され続ける状態

そのためには…？

- ① 多様な野生性動植物が生息・生育する
- ② 身近な自然や生物の重要性や、
外来生物が環境に与える危険性を認識する地域住民が増える
- ③ 地域住民主体の山林保全組織が確立する

などが、アウトカムになり得ます。

アウトプット 設定のポイント



- ・ アウトカムを実現するために
「誰に」「何を」「どのように」 行うか考える

アウトカム① 多様な野生性動植物が生息・生育する。

↑ 特定外来生物の駆除活動にのべ50人参加する

↑ 希少野生動植物の保護を10ha以上行う

アウトカム② 身近な自然や生物の重要性や
外来種の危険性を認識する地域住民が増える。

↑ 観察会に30人参加する

↑ SNSで活動や地域の環境について発信する

アウトカム③ 地域住民主体の里山保全組織が確立する。

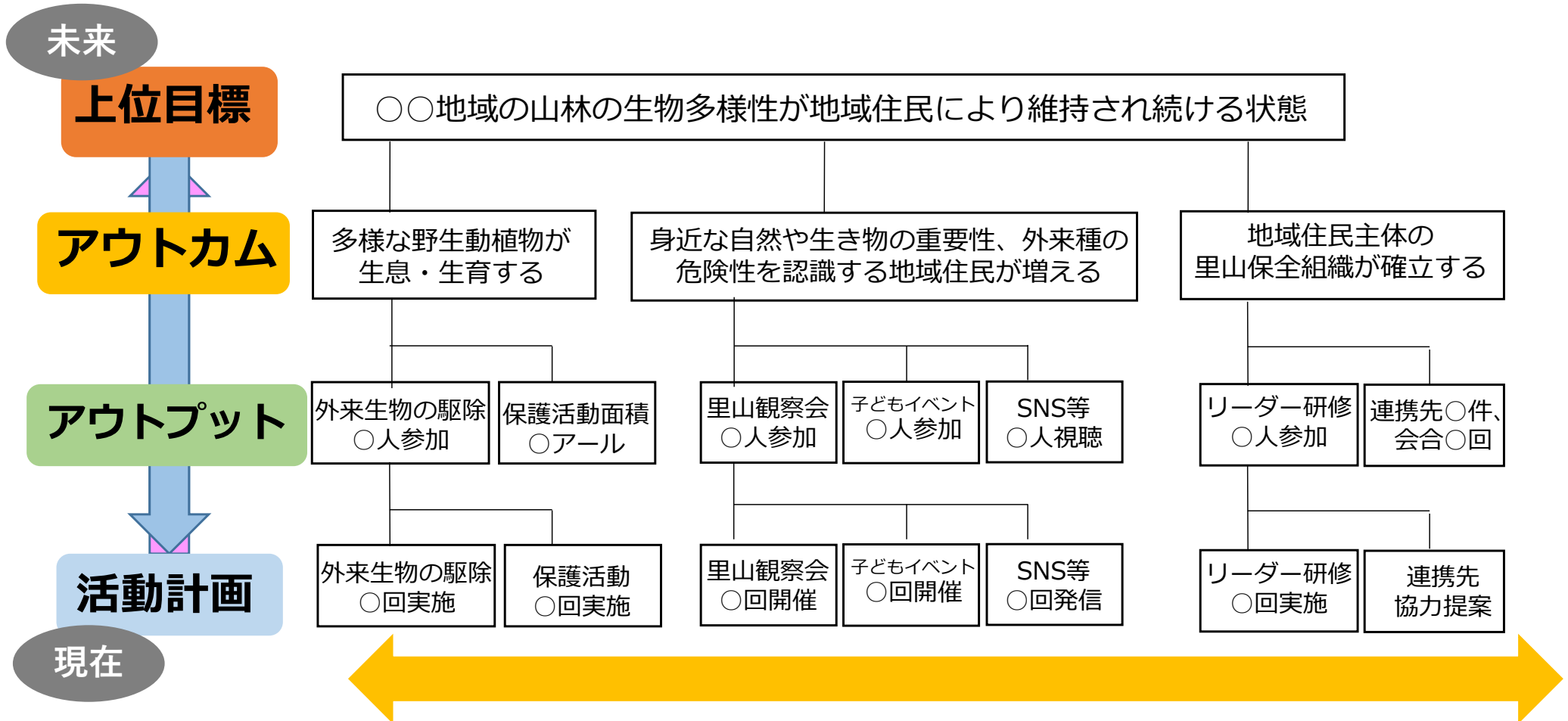
↑ 住民説明会に20人参加する

↑ リーダー研修に5人参加する



ロジックモデルの組み立て方

参考：〇〇地域における里山保全活動のロジックモデル



- 上から下へ、上位目標を立てて、アウトカム・アウトプットの整合性を
- 考案が適切に活動計画を導くをチェック
- 実現したとき「未来論を議論整合するが形でのめにはるか「具体的には？」を繰り返す必要はありますか？

参考






助成金募集案内の34ページに、活動分野別の指標例を記載しております。

活動分野	アウトカム指標例 (何で成果を測るか)	アウトプット指標例
自然保護・保全・復元	保全・復元できた面積 保全活動で生存した種の量 外来種管理できた面積 種の個体数の増加量	保全活動を実施した面積 保全活動の参加人数 再導入された種の個体数 駆除した外来種の数
森林保全・緑化 砂漠化防止	保全・緑化できた面積 違法伐採の減少(量) 外来種管理できた面積	植林面積、植林本数 緑化活動の参加人数 駆除した外来種の数
環境保全型農業	慣行農業の減少(農家数) 環境保全型農業が確立した農地、農家数 環境保全型農業での生産量増	環境保全型農業導入活動を実施した地域数、農家数 環境保全型農業の耕作面積、活動人数、技術習得者数
脱炭素社会形成・ 気候変動対策	温室効果ガス削減量	再生可能エネルギー導入量 再生可能エネルギー発電量、施設数 エネルギー消費の削減量 脱炭素に向けた活動を実践した人数

地球環境基金の審査のポイント

募集案内
P.26-30



	高く評価するもの	不採択になるもの
 計画性	<ul style="list-style-type: none"> アウトカム、アウトプットが明確で指標が設定されているもの 現状や裏付けとなるデータがあるもの 事前事後の振り返り、改善状況の記載があるもの 	<ul style="list-style-type: none"> 目標達成のための全体計画を有していない 継続要望の場合、中間コンサルテーションでのアドバイスの対応、過年度の課題への改善状況が十分に記載されていない
 自立性	<ul style="list-style-type: none"> 助成終了後の活動の展開や制作物の活用方法が明確で、自立していく道筋があるもの 	<ul style="list-style-type: none"> 物品資材の購入ばかり 持ち回りのイベント 他団体への委託が多い
 連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちだけでなく、地域や企業、行政などと連携・協働し、巻き込み、活動しようとするもの 	<ul style="list-style-type: none"> 要望内容が会議及びイベント等に限られ、終了後の実施効果が明確でない場合 協働・連携が情報交換やネットワーキングに留まり、課題解決に向けた取組が不明瞭な場合
 必要性	<ul style="list-style-type: none"> 活動対象地域の現状、ニーズ及び問題点を客観的なデータを基に把握し、活動の必要性及び実施方法が明確であるもの 	<ul style="list-style-type: none"> 先行した類似の助成対象活動が複数ある場合や過去に助成を受けた活動と同一の活動に対する助成の場合
 波及力	<ul style="list-style-type: none"> 調査研究は、その結果を広く普及する仕組みが考慮されていること 政策提言活動は、その成果を確認することができるよう、発信先や発信方法を明確にすること 	

別途、メニュー別の審査のポイントもあります。(募集案内P29・30)

<地球環境基金SNSアカウントのご紹介>

最新情報や助成団体の活動等を発信しています。



 **ERCA_kikin**



 **JFGE.erca.jp**




Instagram **erca_kikin**





地球環境基金の活用をぜひご検討ください。

ご応募お待ちしております！

＜お問い合わせ先＞

独立行政法人 環境再生保全機構
地球環境基金部 地球環境基金課



神奈川県川崎市幸区大宮町1310番ミュージアムザ川崎セントラルタワー8階



044-520-9505



kikin_youbou@erca.go.jp



<https://www.erca.go.jp/jfge>



助成事業におけるコロナ禍への対応

(ご参考：2022年度実績)

各種ガイドライン等を踏まえて講じる対策で必要となる経費のうち、以下について**助成の対象**としました。

①必要な**消耗品等**の経費

(例：マスク、フェイスガード、ビニール手袋、消毒液、非接触型体温計等)

②集合型で開催予定だった会議等が中止となった場合や、オンライン会議等に変更した場合の、**航空券や会議室等のキャンセル費用**

③オンライン会議等の実施に係る**通信費**

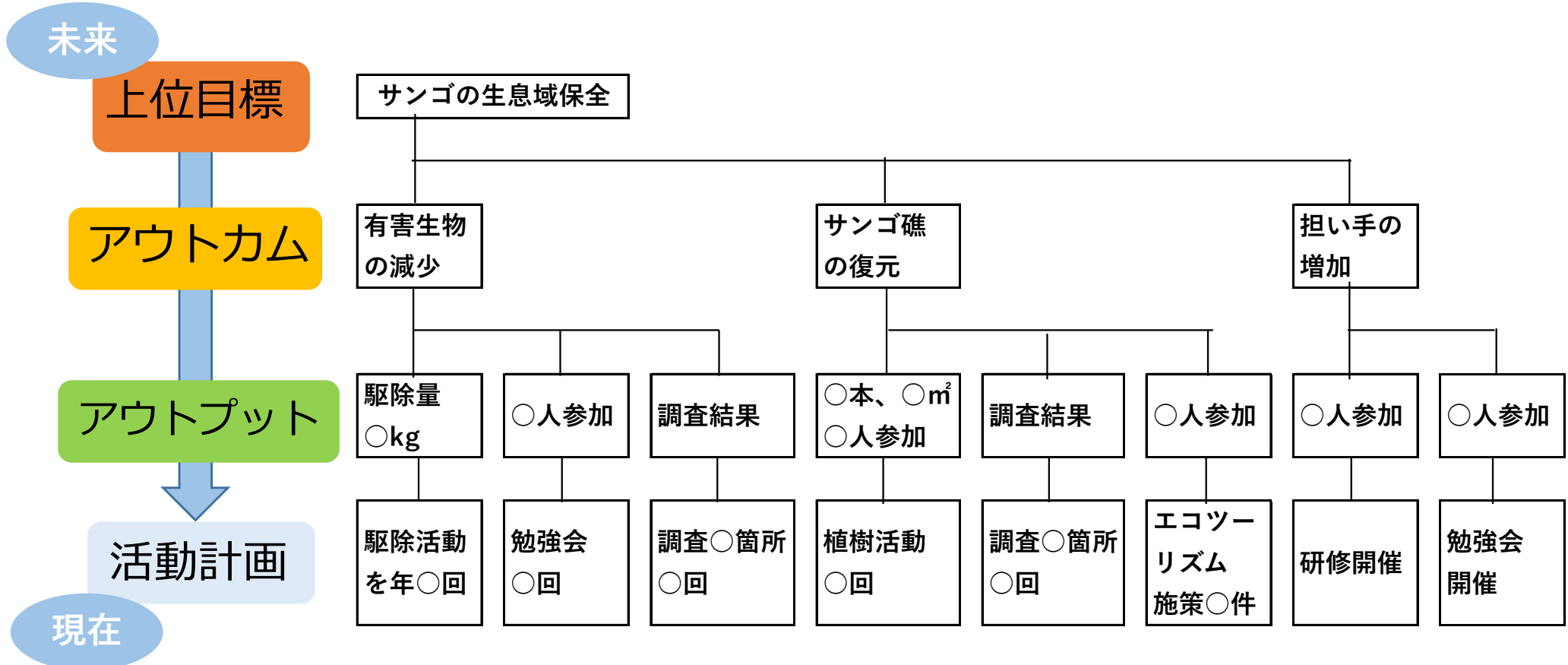
(ただし、助成対象事業以外の活動でも使用する場合は、団体の総事業費に対する助成対象活動の事業費の割合を算出・適用するなど、適切な根拠に基づいて申請いただきます)

このほか、海外渡航の際、**現地政府から入国時にPCR検査を求められる場合の検査費用**についても助成しました。



ロジックモデルの組み立て方

参考：〇〇地域におけるサンゴ礁保全活動のロジックモデル



- 〇上から下へ、上位目標を立てて、アウトカム・アウトプットの整合性を考えながら、適切な活動計画を立てる
- 〇実現したい「未来像」を議論し、そこから「そのためには？」「具体的には？」を繰り返し、自分たちの言葉で、活動のビジョンやプロセスを明確化

■オンライン個別相談会について

- 10月31日（月）、11月1日（火）・2日（水）・4日（金）・7日（月）の5日間にわたって開催
- 1団体当たり約15分
- 地球環境基金HPの「申込フォーム」から
- 上記開催日程「午前の部／午後の部／夜の部」から「第1～3希望」、ご相談事項などを登録

助成金説明会 | 助成金の応募を... x

erca.go.jp/jfge/subsidy/application/schedule/index.html#

四国	(調整中)	オンライン	<調整中> (準備中)
九州	11月9日(水) 14:00~16:00	ハイブリッド (宜野湾市+Zoom)	島しょ地域の海洋教育 (EPO九州)

オンライン個別相談会

2022年10月31日（月）、11月1日（火）・2日（水）・4日（金）・7日（月）の5日間にわたり、1団体当たり約15分の「オンライン個別相談会」を開催します。
ご希望の方は **申込フォーム** からお申込みください。

説明動画

地球環境基金の概要、助成メニュー、要望書の書き方等の説明動画です。応募のご検討に当たり是非ご活用ください。

「助成金説明会」一覧のすぐ下、
オンライン個別相談会の【申込フォーム】をクリックしてください

問い合わせ先



独立行政法人 環境再生保全機構
地球環境基金部 地球環境基金課



神奈川県川崎市幸区大宮町1310番ミュージアムザ川崎セントラルタワー8階



044-520-9505



kikin_youbou@erca.go.jp



<https://www.erca.go.jp/jfge>

地球環境基金

Japan Fund for Global Environment